


シルバー やまなし

第41号
令和4年9月



世界農業遺産～山梨県峡東地域（山梨市・笛吹市・甲州市）

写真提供：甲州市

*** 目 次 ***

○表紙（目次）	1 ページ
○会長あいさつ	2 ページ
○山梨労働局職業安定部長あいさつ	3 ページ
○山梨県産業労働部長あいさつ	4 ページ
○令和4年度定時総会	5 ページ
○令和4年度事業計画（概要）	7 ページ
○令和4年度安全・適正就業	10 ページ
○高齢者活躍人材確保育成事業	12 ページ
○最近のシルバー人材センター事業実績	14 ページ
○令和3年度シルバー人材センター事業状況	15 ページ
○お知らせ・編集後記	16 ページ



「地域のニーズを的確に捉えた シルバー事業の展開を目指して」

山梨県シルバー人材センター連合会 会長 鈴木幹夫

この度、本年度の定時総会及び理事会におきまして理事の皆様よりご推薦をいただき、新たに会長に就任いたしました鈴木幹夫でございます。関係各位には、シルバー事業に対するご指導とご鞭撻を引き続きよろしくようお願い申し上げます。また、前会長の小林信保理事には、これまで様々な課題に取り組んでいただき厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年から「新型コロナウイルス感染症」が世界的に蔓延し、その後も次々と変異株が出現するなど感染終息には至らない状況です。この新型コロナウイルス感染拡大により全国的に産業界や経済活動は大きなダメージを受けており、シルバー事業におきましても、会員や契約金額の減少など、大きな影響を受けてきたところであります。

こうした中、コロナワクチンの普及などにより以前とは状況に変化が生じており、少しずつではありますが日常生活や経済活動がコロナ前に戻りつつある実感があります。また産業界においては人手不足や担い手不足が生じてきている分野もあるようです。急速な高齢化の進展や人手不足などにより、生きがい就労提供の場や働き手として、また、地域の支えとしてシルバー人材センターへの期待が一層高まってくるものと思われまます。

一方で、シルバー人材センターは全国的に会員が減少傾向にあり、就業機会の拡大とあわせて会員増大が喫緊の課題となっている状況であります。そのため、特に本年度の「重点目標」としまして、地域のニーズに沿った多様な就労機会の提供や、地域の役に立つ時代の要請にあった事業の展開と「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の増大、さらにはシルバー人材センターのイメージの転換として広報等の積極的な展開を目指して参ります。

こうした事業実施のため、本年度におきましても連合会と各拠点センターがさらに連携を密にして事業の推進に努めていく考えでございますので、各拠点センターの皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、山梨労働局様並びに山梨県様のご支援につきましても引き続きよろしくようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。



「地域における多様な雇用・就業機会の確保」

山梨労働局 職業安定部長 安井 雄一

山梨県シルバー人材センター連合会をはじめ、会員の皆様、また各関係者の皆様におかれましては、日頃より労働行政の業務運営につきまして、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年4月に施行された「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では、企業への努力義務として70歳までの就業確保措置が導入され、この中には、自社での継続雇用だけでなく、他社においての継続雇用や雇用によらない就業・社会参加等による措置も含まれています。人生100年時代を迎える中、働く意欲がある高年齢者がその能力を発揮し、活躍できる環境整備を図ること、特に高年齢者ニーズに応じた多様な就業機会を創出する取組を推進していくことは益々重要となります。

また、県内の多くの地域が人口減少・少子高齢化に直面する中で、地域福祉や地方創生、農山村の活性化などの政策領域においても、地域の機能を持続させようと相互の連携を図り、様々な取組が展開されています。

今後、シルバー人材センター事業においても地域高年齢者の多様な就業機会を確保し、生涯現役で社会参加していく支援をするという観点から、重要な役割を担われるものと確信しております。

山梨労働局といたしましては、引き続きシルバー人材センター事業が地域社会に根ざした事業として一層発展していくよう、高年齢者雇用対策を推進して参ります。

最後に、シルバー人材センターの御発展、会員の皆様の御活躍を祈念するとともに、山梨労働局及び各ハローワークとの一層の連携につきまして、よろしくお願い申し上げます。





『シルバー人材センター事業の推進について』

山梨県産業労働部長 山本盛次

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会及び各拠点シルバー人材センターの皆様には、日頃から県政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

特に、昨年度においては、県考古博物館の遺跡発掘作業につきまして、シルバー人材の派遣により人材確保に御協力いただいております、心より感謝申し上げます。

さて、県が毎年実施している高齢者福祉基礎調査によりますと、本県における令和4年4月1日現在の65歳以上の高齢者人口は25万3千人で、総人口の31.2%を占め、全国平均の29.0%と比べて2.2ポイント上回っており、本県は全国より高齢化が進んでいる状況となっております。

人口減少、少子高齢化が進む一方、人生100年時代を迎え、誰もが生きがいを感じながら、元気に活躍する社会を実現していくためには、高齢者の皆様がこれまでの人生経験で培った能力や経験を生かしながら、就労の担い手となって地域を支えていただくことが不可欠であり、この点からシルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要となってきています。

未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の影響により、シルバー人材センターにおかれましても、業務受注件数の減少や派遣先の業務停止が生じるなど厳しい状況が続いていると伺っております。このような中、新規会員の募集や新たな就業先の開拓などシルバー人材センター事業の活力維持に鋭意取り組まれている役職員や会員の皆様の御努力に深く敬意を表する次第です。

県では、今年度より業務拡大業種として「遺跡発掘調査」を指定し、就労時間の上限を週40時間まで延長することといたしました。今後も高齢者の様々な就労ニーズに応えるべく、多くの業種の指定に努めて参ります。

シルバー人材センターにおかれましても、引き続き、会員の確保に努めていただくとともに、長年培ってこられた知識や技能が発揮できる新規事業の開拓など、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会の提供に積極的に取り組んでいただき、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進、活力ある地域づくりに御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりますが、会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和4年度 定時総会開催される

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会の令和4年度定時総会が去る6月21日(火)に山梨県立青少年センター「本館」において、全会員の出席のもと、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため出席人数を制限して、ご来賓の方々にもご辞退いただく中で開催されました。

小林信保会長のあいさつに続いて、小林議長の議事進行により、報告事項4件、議決事項2件が審議されました。提出された議案につきましては、全て原案のとおり承認され、理事11名、監事2名が選任されました。

承認いただきました事案は次のとおりであります。

- ① 報告第1号 令和3年度収支補正予算について
- ② 報告第2号 令和3年度事業報告について
- ③ 議案第1号 令和3年度収支決算について（監査報告）
- ④ 議案第2号 役員を選任について
- ⑤ 報告第3号 令和4年度事業計画について
- ⑥ 報告第4号 令和4年度収支予算及び収支補正予算について



定時総会の様子

理事・監事が新たに選任されました

任期満了に伴う、山梨県シルバー人材センター連合会の理事、監事の選任が定時総会において決議され、11名の理事と2名の監事が選任されました。定時総会終了後、開催された理事会において、会長に鈴木幹夫氏、副会長に齋城和久氏、常務理事に河野修氏が選定されました。

公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会 役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	鈴木幹夫	東山梨地区広域シルバー人材センター
副会長	齋城和久	甲府市シルバー人材センター
常務理事	河野修	山梨県シルバー人材センター連合会
理事	小林信保	東部広域シルバー人材センター
理事	渡邊雅彦	富士五湖広域シルバー人材センター
理事	内藤久夫	峡北広域シルバー人材センター
理事	細野幸男	峡南広域シルバー人材センター
理事	保坂武	峡中広域シルバー人材センター
理事	矢崎幹男	南アルプス市シルバー人材センター
理事	山下政樹	笛吹市シルバー人材センター
理事	田中敏彦	学識経験者
監事	野崎行廣	学識経験者
監事	小泉孝博	学識経験者

各シルバー人材センター 理事長(会長)・事務局長名簿

シルバー人材センター名	理事長(会長)	事務局長	設立年月
(公社)甲府市シルバー人材センター	齋城和久	芦澤徹	S56.4
(公社)東部広域シルバー人材センター	小林信保	白鳥公勇	S63.4
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	鈴木幹夫	曾根浩	H2.4
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	堀内茂	渡邊雅彦	H2.10
(公社)峡北広域シルバー人材センター	内藤久夫	高橋一成	H3.1
(公社)峡南広域シルバー人材センター	望月利樹	細野幸男	H3.11
(公社)峡中広域シルバー人材センター	保坂武	輿石春樹	H4.2
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	金丸一元	矢崎幹男	H4.3
(公社)笛吹市シルバー人材センター	山下政樹	小宮山和人	H4.6
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会	鈴木幹夫	河野修	H10.10

令和4年度 事業計画(概要)

第1 シルバー事業を取り巻く状況

シルバー事業は、一昨年発生した新型コロナウイルス感染症の影響で就業の中断や縮小等の影響を受けつつも、必要な感染症防止対策を講じ徐々に就業機会の確保が改善されつつあり、今後、コロナ禍と共存したシルバー事業の充実を図る必要がある。

また、人手不足分野等における高齢者の就業、活躍が期待される中、新たな就業機会の創出や、会員拡大をさらに推し進めていくことが重要である。

このため、引き続き「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の増大と地域のニーズに対応した就業機会の拡大に取り組むこととする。

第2 事業の展開

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、地域から寄せられる期待とその役割は大きいものがあり、会員拡大、組織の活性化や事業の一層の充実等を図る必要がある。

このため、高齢者や企業の多様なニーズに応えるべく連合会と各拠点センターがより一層の連携を図り、次の6つの事項を重点として事業の展開を図ることとする。

1 中期計画策定委員会の設置

人生100年時代を迎え高齢者が年齢に関わりなく働き続けることのできる生涯現役社会を実現することが求められており、シルバー連合の目指す方向性を示す中期計画を策定するための策定委員会を設置する。

2 会員の増大及び就業機会の拡大

活力ある団体運営を行うには、会員の増大と就業拡大が重要であり、全シ協が示した「第2次会員100万人達成計画」に基づき会員拡大を図る。特に女性会員の確保に努め目標達成を図る。

3 多様な働き方の推進

シルバー事業の基本的な働き方である従来の請負・委任業務に加え、高齢法第39条に基づく業務拡大も視野に入れたシルバー派遣事業の推進に努める。

4 安全・適正な業務運営

安全で適正な就業はシルバー事業において基本となるものであり、傷害・損害事故等の防止や新型コロナウイルス感染症対策に努め、公益法人として法令順守の立場から適正就業ガイドラインに基づき、不適正な請負業務の是正等に努める。

5 地域社会や関係機関との連携

シルバー人材センターは、地域の高齢者に働く場を提供して地域社会に参加し貢献しようとするものであり、日常的に地方自治体との連携、ハローワーク等関係機関及び業界団体等との情報交換の強化などに努める。

6 新規事業への対応

国や県への補助事業や地方自治体との連携等、新規事業への積極的な取組により組織運営に必要な財源確保を図り、安定的な事業運営に努める。

第3 事業計画

連合会は各センターと連携して、会員や発注者のニーズに応えるべく以下の各事業を行う。

1 研修事業

シルバー事業の組織運営や事業運営に当たっては役職員及び会員がシルバー事業の理念を十分理解し、専門的又は実践的知識を得ることが必要で、これらの事業運営を行うための研修会を開催、参加する。

- (1) 中央研修会（会長・局長研修、派遣元・職業紹介責任者講習、関プロ研修等）参加
- (2) 連合会が行う研修会（経理研修等）実施

2 安全・適正就業

- (1) 安全就業（安全・適正就業強化月間（7月）の設定、安全・適正就業推進委員会開催、安全パトロールの実施、安全就業研修会の開催等）
- (2) 適正就業（適正就業ガイドライン、受注リストの点検等）

3 シルバー派遣事業

- (1) シルバー派遣事業運営委員会の開催
- (2) 高齢法39条に基づく業務拡大の推進、衛生委員会の設置等

4 職業紹介事業

- (1) 60歳以上で「臨・短・軽」の雇用を希望する方に職業を紹介する。

5 普及啓発事業

- (1) 普及啓発促進月間（10月）の設定
- (2) 広報・普及啓発活動の推進

6 指導事業

- (1) 公益社団法人として組織運営・財政運営の確立等の指導

7 情報の収集・提供等

- (1) シルバー事業に関する情報の調査・収集及び周知
- (2) センター間における調整等

8 就業機会の開拓・拡大

- (1) 県下事業所等への訪問による就業開拓・拡大
- (2) イベント会場等における就業機会の開拓

9 新規事業への検討

- (1) 人手不足分野や地域のニーズに対応した新規事業に対して地方自治体等と連携し積極的な参入に努める。

10 適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

第4 高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、シルバー人材センターの周知・広報等を積極的に行い会員増と当該分野での高齢者の就業を推進する。

- (1) 高齢者や企業に対する周知・広報の実施
- (2) シルバーに関心のある高齢者や企業に対する就業体験の実施
- (3) シルバーの就業を希望する高齢者等に対する技能講習の実施
- (4) 連絡会議の開催（国・県・シルバー連合・労使団体等）

第5 法人管理事業

1 正会員・賛助会員の拡大

2 諸会議の開催及び参加

- (1) 定時総会及び理事会等の開催
- (2) 全シ協定時総会・事務局長会議等、関東ブロック協議会理事会・事務局長会議等への参加

** 要請行動の様子 **

山梨県



堀内詔子衆議院議員



山梨労働局



山梨県議会



森屋宏参議院議員



令和4年度 第1回安全・適正就業推進委員会開催される

令和4年度第1回安全・適正就業推進委員会が去る6月16日（木）に甲府市「山梨県立青少年センター」において開催されました。令和3年度の傷害事故及び賠償事故報告とその対策、令和4年度安全・適正就業強化月間の設定と強化月間中の各センターの事業の取り組み、適正就業のポイントなどを確認しました。

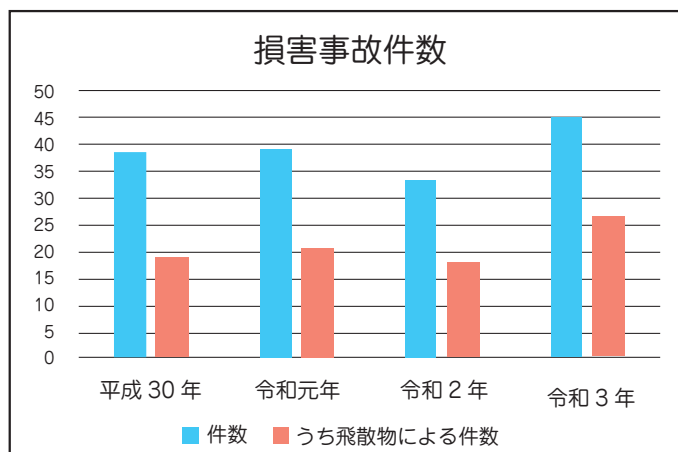
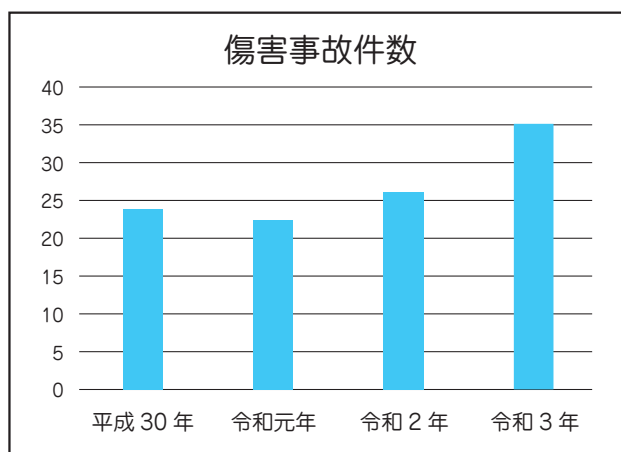
令和3年度の事故状況を見ますと、傷害事故は令和元年度にかけて減少しましたが、令和2年度と令和3年度は増加しています。一方、損害事故につきましては、令和2年度に一旦減少しましたが令和3年度は増加して、特に、飛散物（刈払機からの飛び石）による事故が半数以上を占めています。



第1回安全・適正就業推進委員会の様子

傷害・損害事故件数の推移

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
傷害(転倒・転落等)	件数	24	22	26	35
	うち飛散物による件数	19	21	18	27
損害(対人、対物)	件数	38	39	33	45
	うち飛散物による件数	19	21	18	27



安全・適正就業強化月間 安全パトロールを実施しました

シルバー人材センター事業は、高齢者が健康で安心して働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としています。

日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが重要であることから、毎年7月を「安全・適正就業月間」と定め、安全・適正就業対策の一層の推進を図っています。

その一環として、連合会では県内9センターの現場に出向いて安全パトロールを実施し、安全就業の点検を行いました。

安全・適正就業の主な取り組み

- (1) 安全・適正就業委員会の開催
- (2) のぼり旗の掲揚など安全意識の啓発
- (3) 安全パトロールの実施
- (4) 安全用具等の点検と正しい使い方の指導
- (5) 就業途上における交通事故防止
- (6) 安全・適正就業に係る研修会の開催
- (7) 適正就業ガイドラインに沿った業務運営の見直し
- (8) コロナ予防、熱中症対策と会員の健康管理の徹底



安全パトロールの様子

高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足が顕在化している分野や現役世代を支える介護分野等での担い手不足が課題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題となっています。

こうした中、シルバー事業やシルバー人材センターを広く知っていただくため、テレビやラジオのスポットコマーシャルや新聞広告、市町村広報・業界紙広告などを活用し、高齢者や企業等に対し積極的に周知・広報することとします。また、会員確保のための各種技能講習会、就業体験の開催や、県内の労働団体、経済団体、国・県、シルバー連合が一体となった「やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議」を開催するなど、地域におけるシルバーの更なる活用促進を目指すこととします。

【やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議委員名簿】

団体・機関名	役職名	氏名
山梨労働局職業安定部職業対策課	課長	内田良仁
山梨県産業労働部労政雇用課	課長	渡辺正尚
連合山梨	事務局長	田中好久
山梨県経営者協会	専務理事	一之瀬 滋輝
山梨県商工会連合会経営支援課	課長	鈴木卓也
山梨県商工会議所連合会	事務局長	越石 寛
山梨県中小企業団体中央会労働対策課	課長	古屋孝明
山梨県シルバー人材センター連合会	事務局長	河野 修

技能講習会

高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者の皆さんが、シルバー人材センターに興味を持ち自信をもって就業できるよう技能講習会を行っています。当連合会が開催する技能講習会を受講して、就業に必要な能力・技術を身につけて、シルバー人材センターの会員となり多くの方が就業しています。

令和4年度技能講習会

- パソコン講習
- 調理講習
- 整理収納・清掃・接遇講習
- 植木剪定・刈払機講習
- ドローン講習
- 介護施設運転講習



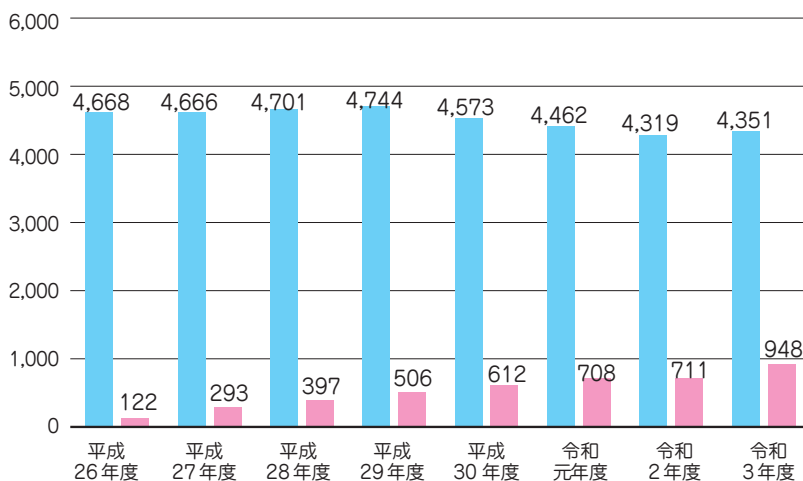
パソコン講習の様子

最近の

山梨県シルバー人材センター連合会事業実績

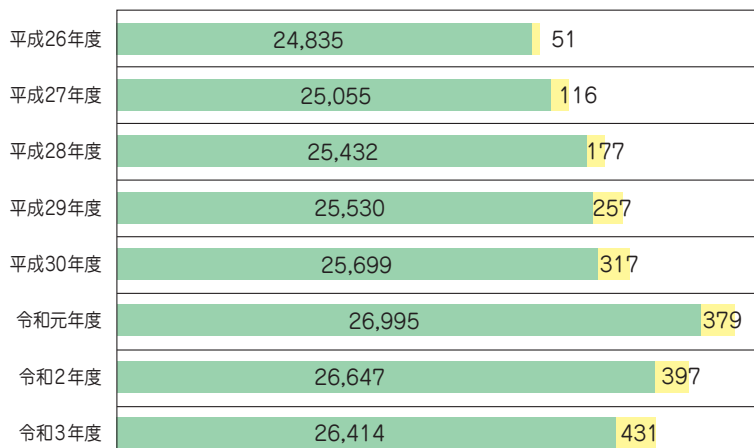
会員数の推移

区分	会員数	
	計	うち派遣
	人	人
平成26年度	4,668	122
平成27年度	4,666	293
平成28年度	4,701	397
平成29年度	4,744	506
平成30年度	4,573	612
令和元年度	4,462	708
令和2年度	4,319	711
令和3年度	4,351	948



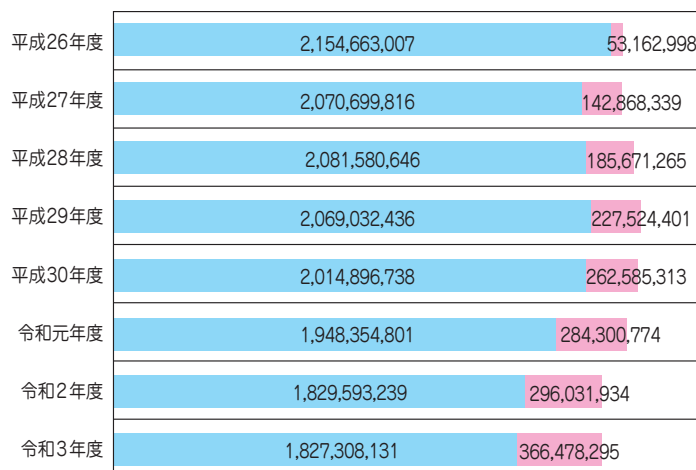
契約件数の推移

区分	契約件数		
	請負・委任	派遣	計
	件	件	件
平成26年度	24,835	51	24,886
平成27年度	25,055	116	25,171
平成28年度	25,432	177	25,609
平成29年度	25,530	257	25,787
平成30年度	25,699	317	26,016
令和元年度	26,995	379	27,374
令和2年度	26,647	397	27,044
令和3年度	26,414	431	26,845



契約金額の推移

区分	契約金額		
	請負・委任	派遣	計
	円	円	円
平成26年度	2,154,663,007	53,162,998	2,207,826,005
平成27年度	2,070,699,816	142,868,339	2,213,568,155
平成28年度	2,081,580,646	185,671,265	2,267,251,911
平成29年度	2,069,032,436	227,524,401	2,296,556,837
平成30年度	2,014,896,738	262,585,313	2,277,482,051
令和元年度	1,948,354,801	284,300,774	2,232,655,575
令和2年度	1,829,593,239	296,031,934	2,125,625,173
令和3年度	1,827,308,131	366,478,295	2,193,786,426



令和3年度

シルバー人材センター事業状況

令和3年度 シルバー人材センター実績表

(令和3年4月～令和4年3月)

シルバー人材センター名	月末会員数(人)									就業実人員		就業率		事業別就業延日人員(人日)			事業別契約件数(件)		
	男	入会 退会	女	入会 退会	計	うち派遣登録			請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	合計	請負 委任	派遣	合計	
						男	女	計											
(公社)甲府市シルバー人材センター	383	73	192	38	575	111	110	22	132	437	91	76.0%	68.9%	43,827	5,958	49,785	5,514	39	5,553
(公社)東部広域シルバー人材センター	256	43	64	9	320	52	19	3	22	271	21	84.7%	95.5%	24,118	3,066	27,184	2,112	6	2,118
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	254	30	156	22	410	52	30	10	40	354	37	86.3%	92.5%	31,370	3,382	34,752	1,658	20	1,678
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	352	59	141	24	493	83	48	11	59	422	41	85.6%	69.5%	40,728	3,972	44,700	2,032	20	2,052
(公社)峡北広域シルバー人材センター	324	49	111	24	435	73	61	24	85	361	70	83.0%	82.4%	33,586	3,722	37,308	3,227	34	3,261
(公社)峡南広域シルバー人材センター	262	45	130	23	392	68	70	11	81	306	99	78.1%	122.2%	22,609	8,980	31,589	2,157	77	2,234
(公社)峡中広域シルバー人材センター	493	78	234	45	727	123	205	81	286	559	215	76.9%	75.2%	62,386	18,007	80,393	3,103	147	3,250
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	299	61	180	45	479	106	67	51	118	362	121	75.6%	102.5%	33,253	7,863	41,116	2,701	40	2,741
(公社)笛吹市シルバー人材センター	338	40	182	25	520	65	89	36	125	374	112	71.9%	89.6%	36,171	8,184	44,355	3,910	48	3,958
合計	2,961	478	1,390	255	4,351	733	699	249	948	3,446	807	79.2%	85.1%	328,048	63,134	391,182	26,414	431	26,845

シルバー人材センター名	契約金額(円)										
	請負・委任契約金額			派遣事業契約金額			事業別契約金額			金額割合	
	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間
(公社)甲府市シルバー人材センター	48,482,049	158,356,098	206,838,147	16,481,282	19,840,202	36,321,484	64,963,331	178,196,300	243,159,631	26.7%	73.3%
(公社)東部広域シルバー人材センター	56,666,291	90,493,297	147,159,588	6,882,772	14,275,631	21,158,403	63,549,063	104,768,928	168,317,991	37.8%	62.2%
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	70,297,699	81,203,776	151,501,475	20,083,832	4,395,120	24,478,952	90,381,531	85,598,896	175,980,427	51.4%	48.6%
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	135,371,528	163,760,753	299,132,281	9,321,381	9,921,453	19,242,834	144,692,909	173,682,206	318,375,115	45.4%	54.6%
(公社)峡北広域シルバー人材センター	67,997,551	138,009,507	206,007,058	10,271,017	14,660,908	24,931,925	78,268,568	152,670,415	230,938,983	33.9%	66.1%
(公社)峡南広域シルバー人材センター	64,089,290	80,345,475	144,434,765	35,692,460	15,370,685	51,063,145	99,781,750	95,716,160	195,497,910	51.0%	49.0%
(公社)峡中広域シルバー人材センター	171,958,754	149,134,112	321,092,866	65,378,923	32,453,434	97,832,357	237,337,677	181,587,546	418,925,223	56.7%	43.3%
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	43,487,569	119,513,414	163,000,983	28,211,666	11,802,495	40,014,161	71,699,235	131,315,909	203,015,144	35.3%	64.7%
(公社)笛吹市シルバー人材センター	72,575,144	115,565,824	188,140,968	27,189,129	24,245,905	51,435,034	99,764,273	139,811,729	239,576,002	41.6%	58.4%
合計	730,925,875	1,096,382,256	1,827,308,131	219,512,462	146,965,833	366,478,295	950,438,337	1,243,348,089	2,193,786,426	43.3%	56.7%



* * * お知らせ * * *

【全シ協役員（監事）交代】

本年6月23日に、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）の令和4年度定時総会が開催され、役員改選において山梨県シルバー人材センター連合会の鈴木幹夫会長が全シ協の第21期役員（監事）に選任されました。なお、ここで交代になりました小林信保監事（前会長）にはありがとうございました。

いよいよインボイス制度の導入が令和5年10月に迫りました。センターには配分金に含まれる消費税額を新たに負担する必要が生じてきますが、公益法人であるセンターは収支相償の原則もあり、新たな税負担の財源はありません。少額の収入しかない「生きがい就業」をしているセンター会員について、特例措置を認めてもらえるよう全シ協においては、シルバー議連の国会議員の先生方のご支援をいただく中で、国に対して働きかけをしています。さらに全国のシルバー連合でも地域の声を届ける取り組みが行われ、本県においては県議会と16の市町村議会から国・政府に対して意見書の提出をいただきました。今後も、センターの安定的な事業運営が可能となるようご協力をお願いいたします。

さて、当連合会の職員に異動がありましたので報告します。皆様に期待されるシルバー事業の推進にこれからも職員一丸となって取り組んで参りますので、変わらぬご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

* * 事務局職員の異動 * *

【採用】 会計年度任用職員 宮川 佳代子（令和4年4月1日）
事務局次長 上 矢 敏 彦（令和4年7月1日）

【退職】 業務主任 仲山 恵美子（令和4年3月31日）
事務局次長 今 泉 輝 史（令和4年6月30日）

シルバー
やまなし

第41号

● 編集発行
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会
甲府市飯田3-3-28 スカイハイツ1F
TEL055-228-8383

● 令和4年9月発行
● 印刷所 アイプランニング